

10月22日樽自治会

「尾根道整備」

夏の暑い盛りや9月の台風シーズンをやり過ごしての10月22日、本来なら、抜けるような秋の青空のもとで、「尾根道整備作業」に汗を流す予定でした。

しかし当日は早朝から雨が響き「今日は中止か？」と思われる天気でした。ところが集合場所に行ってみると、自治会の方々の意欲は、多少の雨で打ち砕かれるような軟弱なものではなく、15の方が自治会から参加され「多少の雨ならやってみよう」という意気込みで、作業は開始されました。

サポーターレンジャー8人、レンジャー3人も加わ

り、総勢26人で作業に取り掛かりました。この日の作業は、金比羅尾根までの道標の設置と登山道の急峻な箇所への階段設置の2つの作業の同時進行となりました。

恵みの森づくりでの「協働」も、これまでに深沢、養沢、軍道、戸倉、菅生、寺岡、落合、山下（協働を行ってきた順）と回数を重ねて、サポーターレンジャーや私たちレンジャーも慣れてきており、樽自治会長のあいさつの後は、それぞれ、道具を手取る者、道標や階段の資材を担ぎ上げる者と自然に役割分担ができて山に入りました。

雨天での整備作業で、足元は悪くツルツル滑るような場所でしたが、けがをすする者もなく、雨で濡れ、泥だらけになりながらも順調に作業は進み、お昼までに予定の作業をほぼ完了して解散になりました。順調に作業が進んだ背景には、道

標や階段部材などを樽自治会の方々が事前に準備して、作業が停滞することなく進んだことが挙げられます。

特に、今回設置した登り口の道標は、空いたスペースにシャガの花などのイラストが描かれており美しい仕上がりになっています。

このコースから金比羅山に上ると距離も短く、楽に歩けるコースと言えます。皆さんも洒落た道標に案内されながら金比羅山に登ってみてはいかがでしょう。おすすめのコースです。

森林レンジャー 杉野二郎

